

化学療法レジメン

レジメン名 【血】《レボホリナート代替》MPV(1,3,5,(7)クー

レジメンの概要 中枢神経系原発悪性リンパ腫

投与量設定(点滴) わくべん(ビソナクシブ) 1.4mg/mi(day1)、 ヌトレセト(ヌトレサート) 3500mg/mi(day1)

投与量設定(内服) プロホパギン 100mg/mi/day(day1-7)

72時間前からST合剤中止,ルーブ利尿薬・NSAIDsはMTX感度以下まで併用禁忌 胸腹水がある症例は投与注意,CREによる用量調節は必要無い

診療科名 血液

管理コード 201001

インターバル日数

14 (Day1から休薬期間を含めたレジメン有効期間)

Rp	手技・投与経路	点滴時間	用法・その他	癌	薬品名称	用量/単位	Day 0	Day 1	Day 2	Day 3	Day 4	Day 5	...	Day 7	
1	点滴静注 末梢側管	時間：_____	ルートkeep用 フラッシュ用		大塚生食注(100mL瓶)	1瓶		○							
2	点滴静注 末梢メイン	時間：8時間			メイロ静注7% 大塚生食注(1000mLリットバック)	2管 1袋		○ 9:00							
3	点滴静注 末梢側管	時間：30分			ルビロシ点静注バック0.75mg 50mL アロカリア点静注235mg	1袋 1瓶		○ 10:00							
4	点滴静注 末梢側管	時間：30分	※最大1回2mg/body	●	わくべん注 生理食塩液PL「フー」50mL	1.4mg/mi 1瓶		○ 10:30							
5	点滴静注 末梢側管	時間：3時間	全量500mLに調製	●	ヌトレセト注 生理食塩液（希釈用）	3500mg/mi 1袋		○ 11:00							
6	側管静注	時間：_____	ヌトレセトの血中濃度に応じて 増量の可能性有り 医師指示に従うこと 生食20mLで溶解し6mL採取		レホホリナート注25mg 生食液NS 20mL	0.3瓶 0.3管				○ 11:00	○ 11:00	○ 11:00			
7	側管静注	時間：_____	生食10mLで溶解し5mL採取 シリンジで払い出し		ダイアモックス注 生食液NS 20mL	0.5瓶 0.25管		○ 15:00							
8	点滴静注 末梢メイン	時間：8時間			メイロ静注7% 大塚生食注(1000mLリットバック)	2管 1袋		○ 17:00							
9	側管静注	時間：_____	ヌトレセトの血中濃度に応じて 増量の可能性有り 医師指示に従うこと 生食20mLで溶解し6mL採取		レホホリナート注25mg 生食液NS 20mL	0.3瓶 0.3管				○ 17:00	○ 17:00				
10	点滴静注	時間：12時間			メイロ静注7% 大塚生食注(1000mLリットバック)	2管 1袋	○ 21:00								
11	側管静注	時間：_____	生食10mLで溶解し5mL採取 シリンジで払い出し		ダイアモックス注 生食液NS 20mL	0.5瓶 0.25管	○ 21:00	○ 21:00							
12	側管静注	時間：_____	ヌトレセト投与開始36時間後より開始 生食20mLで溶解し全量採取		レホホリナート注25mg 生食液NS 20mL	1瓶 1管			○ 23:00						
13	側管静注	時間：_____	ヌトレセトの血中濃度に応じて 増量の可能性有り 医師指示に従うこと 生食20mLで溶解し6mL採取		レホホリナート注25mg 生食液NS 20mL	0.3瓶 0.3管				○ 23:00	○ 23:00				
14	点滴静注 末梢メイン	時間：8時間			メイロ静注7% 大塚生食注(1000mLリットバック)	2管 1袋		○ 1:00							
15	側管静注	時間：_____	生食10mLで溶解し5mL採取 シリンジで払い出し		ダイアモックス注 生食液NS 20mL	0.5瓶 0.25管		○ 3:00							
16	側管静注	時間：_____	ヌトレセトの血中濃度に応じて 増量の可能性有り 医師指示に従うこと 生食20mLで溶解し6mL採取		レホホリナート注25mg 生食液NS 20mL	0.3瓶 0.3管			○ 5:00	○ 5:00	○ 5:00				
	内服	時間：_____			プロホパギン	100mg/mi/day		○	○	○	○	○	○	○	